

『長崎で教会音楽を』第1回オルガン講習会 受賞者の皆さんのコメント

『長崎で教会音楽を』第1回オルガン講習会では、最優秀賞に木村理佐様、優秀賞に内海彩花様が、そして審査員賞に阿部翠様、中澤未帆様が受賞されました。受賞者の皆さんからコメントが寄せられています。

最優秀賞:木村理沙 様



講習会に参加してから早一年半が経とうとしていますが、とても有意義で楽しいひと時を過ごしたことは今でも鮮明に思い出されます。

複数の先生方のご指導を受けられること、浦上天主堂という大きな空間で演奏できることに強く惹かれ、受講することを心待ちにしておりました。

実際に3日間を過ごすことで、レッスンを受講するだけでなく、世代の異なるオルガニストの方々や同年代の同じ志を持った友人に接することで大きな刺激を得ることができました。

受講した当時、私は今後の進路について悩んでいたこともあり何か自分が変わるきっかけを探していたのですが、そのような時にこの講習会に参加し、最優秀賞を頂けたことは大きな自信になり、今の私につながる大切な出来事です。

現在、私は北ドイツにあるリュューベックという街に留学し、オルガンの勉強を続けています。ドイツに身を置くことでオルガン音楽とキリスト教の密な関係を日本にいたとき以上に実感することができます。

『長崎で教会音楽を』というコンセプトは、街中にたくさんの教会が存在する長崎ならではのものだと思います。

このような素晴らしい講習会を開催して下さった実行委員会の皆さまや先生方に感謝を申し上げますとともに、今後もこの講習会が続いていくことを願っております。

<プロフィール>

東京藝術大学音楽学部オルガン専攻卒業。同大学院オルガン専攻に在籍。

2015年芸大モーニングコンサート、2016年日本オルガニスト協会主催フレッシュコンサート等に出演。

2016年第1回「長崎で教会音楽を」オルガンオーディションにて最優秀賞を受賞。

これまでにオルガンを浅井美紀、廣江理枝、椎名雄一郎、即興演奏を近藤岳、通奏低音を椎名雄一郎、チェンバロを廣澤麻美の各氏に師事。

また、2016年秋よりドイツ国立リュューベック音楽大学に在籍し、オルガンを Arvid Gast に師事。

日本オルガニスト協会会員。

優秀賞:内海彩花 様



今回「長崎で教会音楽を」のオルガン講習会に参加させていただき、優秀賞を受賞させていただきましたこと、大変光栄に思います。

私は、小学校・高校の修学旅行で長崎を訪れ、フィールドワークで浦上天主堂に行ったことを鮮明に覚えておりましたので、まさかその思い出の場所でオルガンを弾かせていただけるなんて・・・と、感激いたしました。また、浦上天主堂だけでなく活水女子大学のオルガンにも触れることができ、講師の先生方のご指導をいただきながら、とても充実した3日間を過ごすことができました。

今回の経験を活かし、また一步一步成長することができるよう日々努力を積み重ねていきたいと思っております。

<プロフィール>

3歳よりピアノを始める。

青山学院高等部オルガン部に所属し、高校1年生よりオルガンを始める。

廣江理枝、廣野嗣雄、浅井美紀の各氏に師事。

現在東京藝術大学オルガン科学部4年に在学中。

日本ホーリネス教団池の上キリスト教会オルガニスト。

審査員賞:阿部 翠 様



椎名雄一郎先生からこの講習会のお知らせを伺い、すぐに興味を持ち参加させて頂きました。

ヤンセン先生とジソン先生は、タッチの事や身体の使い方のことまで、一人一人とても熱心に教えて下さいました。普段中々接する機会のない、他の大学のオルガン科の学生と交流できたことも良かったです。

練習とレッスンの合間には長崎の街を散策し、独特なキリスト教の文化が根付いていることを肌で感じる事ができました。また、賞をいただいたことは本当に思いがけず、でもとても嬉しかったです。

椎名先生、ヤンセン先生、ジソン先生、そしてお世話をして下さった香柏のみなさま、本当にありがとうございました。

<プロフィール>

東京藝術大学音楽学部楽理科、同修士課程、及びオルガン科卒。
楽理科在学中にオルガンを始め、現在、同大学院オルガン専攻修士1年在籍中。

2016年第1回「長崎で教会音楽を」オルガンオーディションにて審査員賞を受賞。

2017年度奏楽堂モーニングコンサートにおいて芸大フィルハーモニアと共演。

オルガンを長谷川美保、廣野嗣雄、徳岡めぐみ、通奏低音を椎名雄一郎、即興演奏を近藤岳各氏に師事。

カトリック市川教会、目黒教会オルガニスト。

審査員賞:中澤未帆 様



記念すべき第1回オルガン講習会で、審査員賞という栄誉ある賞をいただきましてありがとうございました。全国からオルガンを学ぶ人が集まり、共に学ぶ経験は非常に刺激あふれるものでした。

講習日の早朝、浦上天主堂のミサに足を運んだ際に、原爆によって壊された旧浦上天主堂の鐘楼の残骸を目の当たりにしました。信仰の場が一瞬にして壊された痛ましさ動揺し、しかしその凄惨な状況から新たな天主堂を作り上げていった力強い心に胸を打たれました。

現在の浦上天主堂に響くオルガンの音色に、教会音楽のあり方を考えさせられたことを覚えています。

長崎の街で学んだことを心に留め、これからも真摯に音楽に取り組んでまいります。

<プロフィール>

洗足学園音楽大学音楽・音響デザインコースを経てオルガンコース卒業。
在学中、特別選抜演奏者に認定され、同大学卒業演奏会に出演。

現在に至るまでオーケストラ、吹奏楽団、各種演奏団体と数多く共演。

日本オルガニスト協会主催第39回オルガン新人演奏会、日本オルガニスト協会東日本支部主催フレッシュコンサート2014に出演。

ロレンツォ・ギエルミ氏、ビーネ・ブリンドルフ氏等の国内外のアカミー、マスタークラスに参加し、研鑽を積む。

現在、洗足学園音楽大学演奏補助要員。

オルガンを荻野由美子、チェンバロを岡田龍之介に師事。

日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。